フォトニュース

世界平和を願い平和バスを運行

▲８月６日、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式典に平和バスで参加しました。今年は、小中学生を含め23人の参加者で、世界的な式典の中、恒久平和について、あらためて考える機会となりました。

また、小中学校へ千羽鶴をお願いしたところ、今年度は例年に比べ、約３倍の１万８千羽が集まりました。ご協力ありがとうございました。

いながわ歴史ウォーク⑨⓪

「お陰踊り」と町域での流行

平安中期から明治初期まで「御師」という回国の祈祷師がおり、江戸期には農村と強く結びつき、また伊勢神宮が農耕神として信仰されて伊勢講が盛んとなりました。

伊勢講では、御師の先導で総参りや当番の代参が行われましたが、参加できない人が家族や雇い主に無断で参詣する抜け参りがたびたび行われました。

江戸期を通じて、ほぼ61年に一度爆発的に起こった抜け参りが御蔭参りで、神徳に感謝して集団で熱狂的に踊る御蔭踊りも村々で行われました。天保元（1830）年、大規模な御蔭参りがおこり、5月頃には河内から御蔭踊りが流行りだし、翌年3月には池田まで

▲お陰踊り御幣

および、5月には川辺郡で、奥川辺の六瀬では8・9月頃に踊られました。仮装や揃いの衣装で、振付師を招いたり、他村への掛け踊りなどをしました。

掛け踊りの番付がある石道村（現川西市）の古記録には「一番広根、二番猪渕、三番内馬場」とあり、地域全体での開放感が伺えます。

ジャンボリーに参加しました

▲８月２日～同８日まで、４年に一度開催される、日本最大の青少年によるキャンプ大会日本ジャンボリーに、猪名川ボーイスカウト７人が参加しました。

静岡県の朝霧高原で、海外41カ国の地域から集まった約２万人がキャンプを通して仲間の和を築きました。

暑さなんかに負けないぞ！

▶8月26日、猪名川小学校で第1回夏休みミニトライアスロン大会が開催されました。参加した小学生94人は炎天下の中、水泳・自転車・ランニングに挑戦。トライアスロンの選手達の指導のもと、子ども達は最後まで諦めず、一生懸命頑張りました。

ふれあい看護体験

▲８月27日、看護師などを目指す中・高校生が医療現場での仕事を体験する「ふれあい看護体験」が町内の病院で開催されました。参加した山内綾さん（高1）は、「この体験を通して、生きることのすごさや命の大切さを感じました。」と語りました。

長寿のお祝いに町長が高齢者を訪問

▶敬老福祉月間中の9月1日、福田町長が今年白寿を迎える岡キヌエさん（大正元年生まれ、数え年で99歳）を訪問し、長寿のお祝いの言葉とともに、祝状を贈りました。岡さんは終始笑顔で町長の訪問を喜ばれていました。9月1日現在、町内には102歳の女性を筆頭に、100歳以上の人が7人います。

人権を考える町民のつどいを開催

▶8月21日、文化体育館で人権を考える町民のつどいを開催し、約130人が参加しました。つどいでは、ヒューマン・ライツコンサートを行い、クラシック音楽と世界の音楽、その時代背景を通して人権を考えることができました。

子ども作品コーナー

つつじが丘幼稚園

◀みんなで育てた玉ねぎです。たくさん収穫できてとっても嬉しかったよ！
野中　優菜ちゃん（年長）

◀おたまじゃくしのきょうだいがヘビに出会ってびっくりしたよ！！（絵本『999ひきのきょうだい』より）
井上　恋々奈ちゃん（年少）

▶かじはどこだ？！ぼくのしょうぼうじどうしゃがしゅつどうだ！！
谷本　郁也くん（年長）

▲10ぴきのおたまじゃくしがザリガニたちにであいながらぬまにかえることができたよ！（絵本『10ぴきのかえる』より）
芦田　洸世くん（年少）

R100 PRINTED WITH SOY INK 本紙は古紙配合率100%の紙に、植物性大豆油インキで印刷しています。11,050部作成し、1部当たりの単価は17.3円です。